

住宅用分電盤に関する内線規程について

内線規程には高遮断機能や雷保護機能、過電流警報機能など高い安全性を求める規定があります。テンパールの【**新型**】住宅用分電盤パールテクトは規定に沿った商品のラインナップをしています。

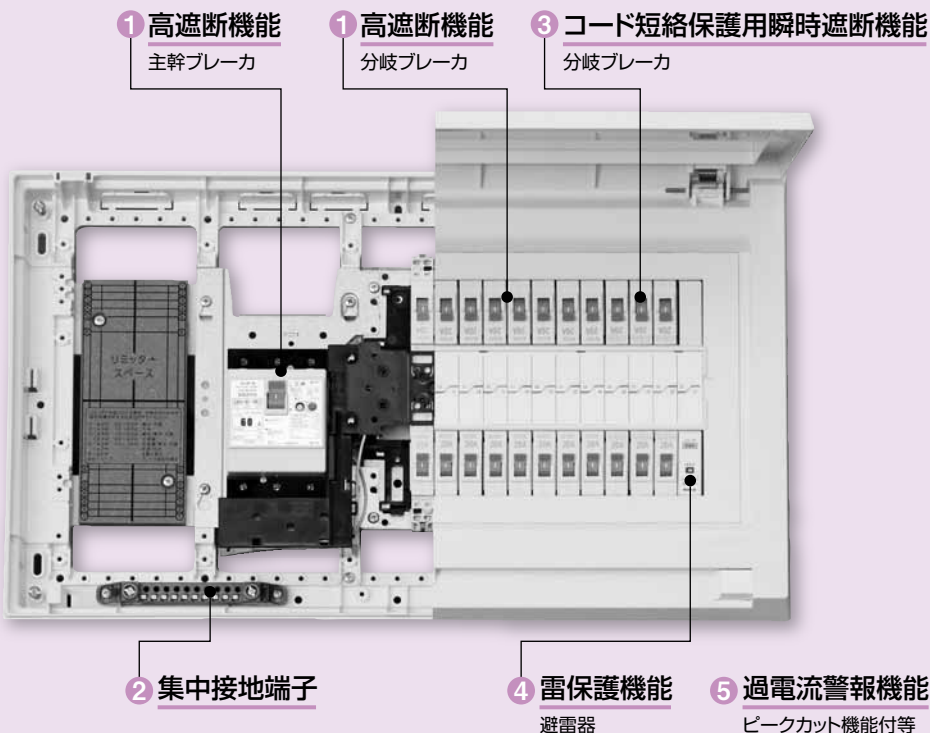
パールテクト組込例

テンパールの住宅用分電盤パールテクトには内線規程で「**勧告**」とされている「**コード短絡保護用瞬時遮断機能付**」の分岐ブレーカ「パールテクトブレーカ」を標準で組み込んでいますので安心してお使いいただけます。



パールテクトブレーカ
BC-1NA
(2P1E20A)

コンセント
回路に



(注) 写真の分電盤は説明用に組み込んだものです。

スタンダード

オール電化対応

発電システム対応

機能付

EV/PHV/HEV回路付

官公庁対応

W・H・M・ボクシング他

轟分岐ブレーカ

オプション

資料

外形寸法図

生産終了品

出典:(社)日本電気協会「内線規程JEAC8001-2011」

1 高遮断機能

紹介

過電流遮断器の遮断容量の選定が容易に行えるよう、JEAC8701「**低圧電路に施設する自動遮断器の必要な遮断容量**」が資料編にあります。

[1360-5条]

集合住宅など供給用変圧器室を介した場合は、変圧器容量や変圧器からの距離によっては、大きな短絡電流が流れる場合があります。そのために高遮断容量のブレーカを組み込んだ当社**住宅用分電盤パールテクト**をおすすめします。

	定格遮断容量	
定格電流	30A以下	30Aを超え100A以下
主幹ブレーカ	2.5kA	5.0kA
分岐ブレーカ	2.5kA	

2 集中接地端子

推奨

住宅用分電盤には集中接地端子を設け、機器の外箱に施設する接地線やコンセントの接地極に施す接地線などを集中接地端子に接続することが推奨されています。

[1365-9条3項]

漏電遮断器の確実な作動を図るために、住宅用分電盤の選定には集中接地端子付きをおすすめします。当社**住宅用分電盤パールテクト**は10連のアース中継端子を標準装備しています。



3 コード短絡保護用瞬時遮断機能付配線用遮断器

勧告

住宅のコンセントに接続された分岐回路に使用する配線用遮断器として、コード短絡保護用瞬時遮断機能付配線用遮断器を用いることが規定されています。(据置型の大形電気機械器具等への専用回路のものは除く) [3605-4条]

コンセント回路に接続された分岐ブレーカには、コード短絡時に周辺の可燃物への着火による火災の発生を抑えることのできる「**コード短絡保護用瞬時遮断機能付配線用遮断器**」を装備した当社**住宅用分電盤パールテクト**をおすすめします。



4 雷保護機能

勧告

住宅用分電盤への雷保護装置の施設方法についての規定が示され、雷保護装置を装備した住宅用分電盤は、集中接地端子を備えたものであることが規定されています。 [1361-1~3条]

雷の襲来が多い地域では、当社避雷器付住宅用分電盤をおすすめします。テンパールの避雷器(LA-1A)は、電源線やアース線から侵入する誘導雷サージから家庭の電気機器を保護します。



避雷器(LA-1A)搭載

パールテクトブレーカと同一サイズの小ささで、余裕の放電電流性能を実現!!

